

# 低入札価格調査結果調書

- 1 調査対象工事名： 百里（7）境界柵整備工事
- 2 入札日： 令和8年1月23日
- 3 調査対象業者名： 麻生建設株式会社（法人番号2050001021336）
- 4 調査概要：

調査事項	調査結果
当該価格での入札理由	<p>調査対象者は、以下の理由から当該価格にて良質な施工が可能と判断し、入札に臨んだものである。</p> <p>① 各協力会社とは長年協力関係にあり、同種工事に精通し豊富な施工実績を有しているため効率的な施工ができることから、労務費及び諸経費を抑制することが可能である。</p> <p>また、本工事の主要資材である金網柵や門扉について、長年の取引先からの調達を行うことにより仕入れ価格の低減が可能である。</p> <p>② 過去に防衛省（部隊工事）の同規模・同種工事の施工実績があり、過去の経験を活かした効率的な施工計画により、共通費の低減が可能である。</p> <p>③ 使用する主要機材の全てを自社において保有しており、稼働時の専属的な使用体制を確保する計画であることから、経費削減が可能である。</p>
入札価格の適切性	入札価格は、予定価格の約59.21%であったが、調査対象者の入札価格の内訳書には、積算項目及び数量は適正に計上されていた。
手持ち工事の状況と技術者の適正配置	本件工事に関連する手持ち工事が1件あるが、技術者は適正に配置されている。
手持ち資材、手持ち機械の状況	本件工事に関連する再生砕石の手持ち資材を保有している。 ユニック車等の本件工事に要する主要機械を保有している。
労務者の供給見通し	自社及び協力会社の作業員により供給の見通しは立っている。
過去に施工した公共工事の施工状況	防衛省や地方公共団体が発注した工事の実績があり、いずれも適正に施工している。
経営状況及び信用状況	特に問題点はない。

- 5 当該工事についての適正履行の有無 有
- 6 落札の決定 令和8年2月9日 麻生建設株式会社